



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2018年6月29日



第51回通常総会



再任された西理事長

## 西理事長をはじめ三役を再任 第51回通常総会・第2回理事会

2018年度の事業計画や役員改選の件などを審議する第51回通常総会が5月22日(火)、ホテル青森で開かれた。同総会には、組合員122名(本人出席56名、委任状出席66名)が出席した。総会の開催にあたり西理事長は挨拶の中で、昨年度の50周年記念式典・祝賀パーティ

1などの記念事業に対する組合員の協力への感謝の意を表すと共に「今年度は、50周年宣言で示した経済的価値創出事業、社会的価値創出事業、文化的価値創出事業の3つの価値を重視した事業活動を行い、ビジネスパークを目指す」と述べた。総会では、西理事長が議長

に選任され、2018年度事業計画や収支予算案等が原案どおり承認された。また、任期満了に伴う役員改選では、理事に(株)技研の鷲尾社長を新任。また、同日に開かれた第2回理事会では、三役を選任する組織会が行われ、西理事長、柳谷副理事長、佐治副理事長、藤本専務理事が再任された。(新役員は後記)

総会終了後には懇親会が開催され、来賓を代表して、青森県佐々木副知事、青森市小野寺市長、日本銀行青森支店武田支店長が祝辞を述べ、青森商工会議所の若井会頭の乾杯で祝宴に入った。

【新役員・敬称省略】  
▽理事長 西秀記 (株)西衡器製作所

## 問屋町地区の街路樹を一部伐採

青森市では組合からの要望を受け、道路整備の一環として、歩道の損傷の原因となっている街路樹を一部伐採することとし、伐採予定の樹木にはピンクのテープが貼られた。

5月に約30本の樹木が伐採され、今年度中には残り約60本が伐採される予定である。組合では昨年度、損傷が著しい問屋町地区枝線道路の早期整備を青森市に要望した。問屋町地区の枝線道路は造成当時のままコンクリート舗装となっており、経年劣化による路面の損傷で車の通行に支障を来している。また、歩道も造成当時のままブロック板となっており、街路樹の根の影響で隆起や陥没している箇所が多く、早期対応を要望。この度の対応へつながった。

市では、伐採後の街路樹柵



伐採予定の樹にはピンクのテープが



歩道損傷箇所の樹木を伐採

- ▽副理事長 柳谷章二 (株)問屋町カーサービス・佐治隆雄 (株)プリモ)
- ▽専務理事 藤本和夫 (協)青森総合卸センター)
- ▽理事 雪田清紀 (株)東晴)・工藤正博 (株)KGアンサンブル)・佐々木聡 (青森三菱自動車販売(株))・江渡文隆 (江渡商(株))
- ※新任) 教材社)・鷲尾晴実 (株)技研
- ▽監事 太田雄三 (株)伸和産業)・和田祥平 (和田ゴム販売(株))
- 事(株)・石田憲久 (株)青森新生活互助会)・木村英敬 (三協運輸(株))・赤坂晃 (協)青森総合卸センター)・大平幹夫 (株)大平

### 第39回定時総会

青森問屋町経営同友会

青森問屋町経営同友会の第39回定時総会が5月18日(金)にホテル青森で開催され、会員27名が出席した。

総会では提出議案が全て原案どおり承認され、今年度も精力的に活動を推進していくこととなった。

総会前には、ご当地アイドル「りんご娘」等をプロデュースする(有)リンゴミュージックの樋川社長による特別講演会を開催。樋川社長は、エンターテイメントで地元を面白くしたいと思いついた「りんご娘」を結成。当初は芸能界の



同友会 第39回定時総会

経験、ノウハウ、資金などすべてゼロの状態からスタートしたが、2016年には「りんご娘」が愛踊祭(あいどるまつり)で優勝を果たし、日本一のアイドルになるなどの活躍を見せている。

樋川社長は「インターネットの時代だからこそリアルな対話力が必要。メンバーには積極的に多くの人と会わせ、出会った人との縁を大切にしよう指導している」と熱く語った。



講師を務めた樋川氏

### 佐々木会長を再任

問屋町支店長・所長連絡会

問屋町支店長・所長連絡会の第11回定時総会が6月6日(水)にホテル青森で開催され、会員24名が出席した。

総会では佐々木会長が議長に選出され、審議の結果、全期満了に伴う役員改選では会長に佐々木所長(コセキ株)が再任。新副会長に東北化学薬品(株)の西堀支店長、新幹事に北燃商事(株)の平川支店長が選任された。

また、総会に先立ち、青森市新町商店街振興組合の加藤副理事長を講師に招き、「クル

ーズ客船と商店街の関わり方について」と題した特別講演会を開催した。

加藤副理事長は「これまで商店街に来る外国人が増えたと、ただ漠然と感じているだけであった。しかし、アンケート調査によると、昨年、

青森港へ寄港した22隻、約2万6千人の乗客のうち、約半数は新町商店街を中心に周辺施設を回遊していることが判明。また、乗客の平均消費額は約9,400円で、県外から青森県に来る日帰り観光客の平均消費額の約7,800円を上回る結果となり、商店街にもたらしているインパクトは想像以上にあることがわ



青友会 第11回定時総会

かった。商店街はもとより、県、市、観光コンベンション協会等とこれまで以上に連携を密にし、クルーズ客船の乗客をおもてなしする体制を整えていきたい」と意気込みを語った。

### 車両マーキングシールを無料配付

組合では景観整備事業の一環として、車両マーキングシールを無料で配付している。サイズはライトバン用とトラック用の二種類あり、それぞれシールタイプとマグネットタイプから選べる。

車両マーキングシールは2006年からスタートし、これまで約3千枚を配付。組合員の営業車両に組合のロゴマークデザインシールを貼って町中を走行してもらうことで、走る広告塔として問屋町のイメージアップに大きく貢献しているほか、組合員の



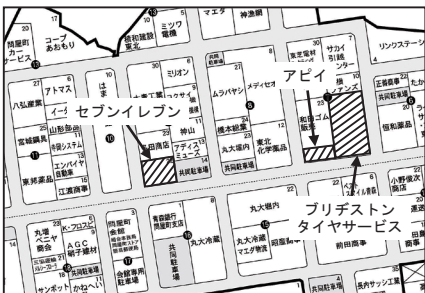
車両マーキングシール

体感醸成にも一役買っている。組合では、団地内全営業車両への取付けを目指しており、協力をお願いする。シールのお問合せ、お申込みは、卸センター業務部(☎738-4711)まで。

### 組合員の新築工事等が続々着工

現在、問屋町では、新加入の組合員等による社屋の新築工事等が相次いで着工している。

問屋町地区では、新規組合員である(株)アピイとブリヂストンタイヤサービス東日本(株)が、問屋町大通り沿いに、それぞれ新社屋の建築を進めている。また、はまなす会館の向い側では、セブンイレブンの店舗建築のため既存施設の解体がスタート。第二問屋町地区では、既存組合員である(株)いしおかで施設の増改築工事に着手している。



工事着工箇所(問屋町地区)

### 職場のユニホーム

ご一報下さい。カタログ持参致します。繊維製品総合卸



株式会社

神 山

青森市問屋町 TEL 738-4581 FAX 738-4089

海産乾物問屋 昆布を食べよう

株式会社 丸毛最上商店

青森市問屋町二丁目14番22号  
TEL 017-738-5891  
FAX 017-738-5895  
http://www.mogami.biz

問屋町たんしん

第26回問屋町納涼パーティー  
開催のお知らせ

①日時 7月27日(金)  
午後7時～9時

②場所 (開場6時30分)  
ホテル青森 3階 孔雀の間

③参加料 1人2,100円 (税込)

※卸センター事務局にてチケットをご購入ください

④定員 460名

⑤締切 7月19日(木)

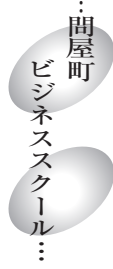
※定員に達し次第、締切とさせていただきます

お問い合わせは、卸センター業務部(☎7381471)まで。

業務報告

主要事項

- 5月
  - 9日▽市産業振興財団協力会 会員懇親会
  - 10日▽全国中央会「中小企業組合のあり方研究会」事例発表
  - ▽第2回問屋町合同清掃 問屋町支店長・所長連絡会第1回幹事会
  - ▽県健康経営セミナー事例発表
  - 11日▽県計画・建設診断 収収益金寄付
  - 14日▽パソコンリサイクル回収収益金寄付
  - 15日▽金融審査会
- 16日▽県中小企業診断協会理事會
- 17日▽県経営者協会2018 地域フォーラム
- 18日▽問屋町経営同友会第39 回定時総会
- 21日▽市産業振興財団常務會 22日▽第51回通常総会
- ▽青森卸センター(株)第49 回定時株主総会
- 23日▽市高度化事業団体連絡 協議会幹事會
- 24日▽市職域健康づくり部會 24日▽第1回とんやまち健康づくり実践塾
- ▽安協問屋町支部第1回 役員會
- 25日▽市勤労者互助會運営委員會
- 28日▽市産業振興財団理事會
- 29日▽あおもりコンピュータ カレッジ理事會
- 31日▽県中央會通常総會



問屋町 ビジネススクール  
10日▽定着率が向上する部下の指導法  
16日▽スキルアップセミナー(準備編)  
17日▽Y's CLUB  
21日▽セルフモチベーション向上研修①  
24日▽セルフモチベーション向上研修②  
29日▽成果が出る会議の進め方

第42弾となる今回の経済雑感  
は、先日、すい臓がんの告知から治療終了までの約11年にわたる闘病生活を記した「すい臓がんステージIVから還(かえ)ってきた男」を出版した、協同組合タツケンの川嶋理事長にご寄稿いただいた。

経済雑感

協同組合タツケン 第八十五回  
代表理事 川嶋 勝美

「すい臓がんステージIVを体験して学んだこと」

「がん」との出会いは59歳の時。すい臓がんステージIVで余命7ヶ月の宣告を受けた。弘前大学付属病院で手術。すい臓一部、胃3/4、脾臓全摘、十二

指腸、胆嚢、横行結腸の一部、と内臓の6ヶ所を切除した。その日から前の見えない...苦しい、不安な闘病生活が始まった。5年間、県立中央病院で毎月3回の抗がん剤治療を続けながら、野菜中心の食事、散歩、マッサージなどの代替療法にも取り組んだ。



川嶋 勝美 氏  
協同組合タツケン 代表理事

今、私がなぜすい臓がんから脱出できたのか考えてみると、心や食事・運動などの生活習慣を変え、仕事などの社会活動などを積極的にしたことも大きな要因であったと思う。

すい臓がんステージIVから還ってきて思うことは、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない、唯一生き残るのは、変化できる者である(ダーウインの進化論)」。がんなどの病気になっ

告知からの10年間、不安、焦燥、絶望、死の恐怖などに向かい合いながら、多くの心の病を経験した。身体が病気になる、心もどんどん病んでいった。その間、すい臓がんを罹患した友人たちは、全員他界。私の身体と心の状態はどん底の時がずっと続いた。

心を入れ替えなければ「死」が待っている。そして日々の生活習慣を変えることが肝要と思

「変える、変わる」勇気と行動の実践を強くお勧めしたい。(つづく)

一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬  
三協運輸株式会社  
三協クリーンサービス株式会社  
〒038-0023  
青森市大字細越字栄山590-12  
TEL 017-739-6426 FAX 017-739-1612

明日を創り 明日をひらく  
教育・福祉施設・OAシステムトータルプランニング  
教育設備品・理化学機器・視聴覚機器・保育用品  
介護福祉機器・文具事務機器・OA機器  
株式会社 大平教材社  
〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目5番33号  
TEL 017(762)3111(代) FAX 017(762)3130  
E-mail: oodaira@infoamori.ne.jp  
http://www.infoamori.ne.jp/oodaira/

■栄養補助食品 製造(OEM受託) 販売(通信販売、卸販売)  
■化粧品卸販売 ■農業資材、環境改善機器等の卸販売  
ミリオン株式会社 営業時間 平日:月~金曜 AM9:00~PM6:00 定休日 土・日・祝日  
〒030-0131 青森市問屋町1丁目9-6 0120-404-303  
TEL 017-763-0880 FAX 017-763-0881  
ミリオン健康ランド http://www.t-mirion.co.jp/  
お気軽にご相談ください。オリジナルサプリメント製品をデザイン設計から製造まで一貫して行います。試作・小ロット・大ロットまで対応。

事務機・事務用品の総合商社  
〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目3-34  
株式会社 金入 青森支店  
TEL 017-739-9001 FAX 017-739-9011

色とりどりの花が問屋町を彩る

組合では、問屋町花いっぱいプロジェクトの一環として、昨年に引き続き問屋町フラワーボックスを問屋町大通りに設置した。

問屋町フラワーボックスは、昨年、組合創立50周年を記念し、問屋町の景観整備のアドバイザーを務める造園デザイナーの鈴木野波氏から贈られたもの。オリジナルデザインの木製プランターに寄せ植えされた花々により問屋町大通りが華やかになり、大変好評であった。



問屋町フラワーボックス



水やりをする組合員従業員



花の植え方教室

今年、昨年の45台に更にプラスし、計100台を設置。水やり等、花苗の管理は近隣の組合員従業員から協力を得て実施しており、色とりどりの花が行き交う人々の目を楽しませ、問屋町の景観向上に

大いに寄与している。また、6月4日(月)には、問屋町花の植え方教室が初開催され、組合員従業員14名が参加した。当日は鈴木野波氏が講師を務め、プランターへの寄せ植

え方法を指導。参加者は花苗の選び方や植え方、完成後のメンテナンス方法について学び、実際に寄せ植えをしてフラワーボックスを完成させ、笑顔で持ち帰った。

新役員に聞く

今回は、先の総会で新役員に選任された(株)技研の鷲尾社長にお話を伺った。

同社は昭和54年に創業し、主に官公庁の公共事業を対象としてコンクリート二次製品の設計・開発、製品製造、施工を行う。青森本社をはじめ、盛岡事務所、青森工場を拠点に、設計から施工までワンストップで対応することで、あらゆる要望に合わせた総合的な提案を可能としている。

「当社では、合格率20%に満たないコンクリート診断士試験に2名が合格するなど、資格取得や研修などを会社で後押しすることで社員一人一人の能力を高

め、確かな技術力をもった技研ブランドを提供しています。『技の研磨で未来を創る』を企業理念に、今後も広く地域社会のために社員一丸となって取り組んでまいります」と語る。



(株)技研 代表取締役社長 鷲尾 晴実 氏

業界の現状について尋ねると「東日本大震災後の集中復興期間が終わり、今は『復興・創生期間』ではあります。復興特需は一段落しました。そこで当社では、昨年3月

まで国の政策で行われていた、質の高い設備投資の促進によって事業者の生産性向上を図るための『生産性向上設備投資促進税制』を利用し、工場の設備を全面的にリニューアルしました。加えて、

問屋町の印象に話が及ぶと「様々な交流イベントや研修会が多く、社員とも大変ありがたそう思っています。形だけの事務局ではなく、何事も一生懸命やられているのでとても感心します。今

えて話した。 3年前のインタビュー時に話していた禁煙について聞くと「あれからお煙草は完全に止め、ご飯がおいしくなりましたね。最近では食べ物にも気を使い、ごはんを少なめに野菜から食べるように心掛け、大好きなラーメンも控えるようになりました。体重が減ると膝への負担も改善されるので一石二鳥です。意識を変えただけで痩せられるということが分かり、この調子だと4kgほど痩せたいですね」と仕事以外の目標も高く持っている。(62歳)

編集後記

今第51回総会も組合員の皆様の協力でご無事終ることができました。これにより新たな50年へのスタートができました。感謝申し上げます。さて、下水管などを破損させて問題だった問屋町の古い街路樹を、市では今年度内に計画伐採することとなりました。また、フラワーボックスを問屋町大通りに昨年に倍する百台を設置しました。水遣りをお願いしています組合員には感謝・感謝です。以上二つは「社会的価値創出事業」となります。転話題。5、6月は総会シーズンですが、その総会とセットの講演会で、優れて有益なものがありましたので、ご紹介いたします。青森経済同友会の総務省自治行政・山崎重孝局長による「二〇四〇年」と題する講演は、特に耳目をひきました。二〇四〇年とは山崎局長が省庁横断的に立ち上げた「自治体戦略2040構想研究会」の第一次報告です。2040年頃を見据えた、人口減少下に「人間を尊重する社会」をどう構築するかについての、自治体の戦略の必要性を研究したレポートです。我が国の総人口は2008年の一億2,808万人をピークに減少し始め、2040年には一億1,092万人となります。出生数は、ついに年間百万人を下回り、2040年には74万人程度になると見込まれています。高齢化は、三大都市圏を中心に急速に進行し、2015年に3,387万人であったものが、2042年には3,935万人でピークを迎えるそうです。75歳以上人口はその後も2054年まで増加し続ける見込みとのことです。この稿は次号に続きます。(藤本)

地方創生 全力投球! 青森銀行 http://www.a-bank.jp/

青森県公安委員会認定 第176号 (一社)青森県警備業協会 会員 K-Frontier Spirits Co. K・フロスピ株式会社 代表取締役 小枝 花奈 交通誘導警備・施設警備・制服販売等 〒030-0901 青森市港町1丁目2-8 TEL:017-762-7226 FAX:017-762-7228 URL:http://kfrospi.jp/